

2020年8月7日

各位

上場会社名 鳥越製粉株式会社
代表者 代表取締役会長兼社長 鳥越 徹
(コード番号 2009 東証第一部・福証)
問合せ先責任者 取締役常務執行役員管理本部長
中川 龍二三
(TEL : 092-477-7112)

2020年12月期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年5月13日に公表した「連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」において、2020年12月期業績予想及び配当予想を未定としておりましたが、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 2020年12月期通期連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	20,800	580	800	420	18.05
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(参考)前期実績 (2019年12月期)	22,321	1,198	1,423	1,007	43.29

(2) 修正の理由

2020年12月期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業活動への影響が不透明であり、業績予想を適正かつ合理的に算定することが困難な状況であったことから、2020年5月13日公表の「連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」において一旦「未定」としておりましたが、現時点において入手可能な情報をもとに算定したものを公表いたします。

業績予想の前提としましては、

- ①新型コロナウイルス感染拡大の収束時期が未だ不透明であり、場合によっては第2波襲来等により緊急事態宣言の再発出等による社会的制限が実施される可能性も否定できず、社会・経済活動の停滞・低迷が長期化し、大変厳しい事業環境が続くものと想定しております。
- ②第2四半期決算において、当社が保有する有価証券について、取得価額に比べて時価が著しく下落したもののについて、減損処理による投資有価証券評価損を計上しました。投資有価証券の評価方法は、洗い替え方式を採用しており、今後の金融資本市場の動向により損失額が変動することが予想されますが、現時点で合理的な予測は困難であり、業績予想の算定に際しては、第2四半期決算において計上した投資有価証券評価損と同程度の損失額を織り込んでおります。

③以上の前提に基づき、第2四半期決算及び直近の業績の動向等を総合的に勘案して算定した結果、2020年12月期の業績は売上高、利益共に前期実績に比べて大幅に減少するものと予想しております。

※上記業績予想につきましては、本資料の発表時点で当社が入手している情報及び一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 2020年12月期配当予想

(1) 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	年 間
前回発表予想 (2020年5月13日発表)		—	—
今回修正予想		14円00銭	14円00銭
前期実績 (2019年12月期)		14円00銭	14円00銭

(2) 修正の理由

2020年12月期の配当予想につきましては、連結業績予想と同様に未定としておりましたが、今回の連結業績予想に基づき、配当予想を公表いたします。

当社は、利益配分につきましては、株主の皆様への安定的、継続的な利益還元を基本としつつ、各事業年度の業績及び財務状況、内部留保の充実による経営基盤の強化、今後の経営環境等を総合的に判断した上で決定する方針であります。

2020年12月期の連結業績は前述の通り非常に厳しい内容と予想しておりますが、当期の配当につきましては、上記方針に基づき、前期と同額の一株当たり14円を予定しております。

以 上